

令和2年度
事業報告書



安心を創る
—まちで働く・まちで暮らす—

社会福祉法人シンフォニー

利用者、職員が地域社会の中でともに働き・活動することにより障害理解を促進し、共生社会の実現を図る

地域の中で働くことを目指してきた当法人にとって、今回のコロナ禍が「飲食業」を直撃したこともあり、就労支援収入の大幅減により予定していた収益の改善を図ることができず事業再編が必要となった。

一方このような状況下にあっても「共生社会の実現」に向けた一般就労への取り組みは留まることなく、希望する5名の就職者を送り出した。

①適性と希望に応じた就労支援・就職支援

- A型・B型・移行支援から一般就労等への移行
- 就職情報・受験機会の提供
- 就職者の交流と就労定着支援としての同窓会
- 生産活動の見直し（品目・目的・時間等）

○A型：ホテルメンテナンス業、市役所へ計2名就職。

移行支援：ドラッグストア2か所、建設業へ計3名就職。

○県立学校、大分県庁、大分市等の非常勤職員採用情報の提供や採用試験に向けた支援のほか職場実習を実施。

△本年も新型コロナウイルス感染症の影響により同窓会は中止したが「シンフォニータイムズ」に就職者の様子を掲載することにより互いの状況を知ることができ、心の交流を図った。

○A型：農業分野の利用開始時間を8:45⇒8:00へ変更し「朝採り野菜の出荷」により消費者に新鮮さをアピールできた。また、菌床椎茸の品種変更により肉厚で品質等が原木品に劣らないものが栽培できたことにより市場価値が上がり、収穫重量増とともに販売単価UPを図ることができた。

②工賃（賃金）向上に向けた収益の安定化

- 新規借地（農地）による生産拡大・販路開拓
- 農業用ハウス（10m×15m）の解体・移設
- 喫茶の見直し（写真メニュー・券売機・価格等）
- 受注作業見直しによる生産性の向上

△農地移転に伴う準備期間が排水等の不具合で想定より長くなり生産量の拡大を図ることはできなかったが、顧客ニーズに合わせコンパクトに多品目多品種の作付で回転率を上げた。

○農業用ハウスの移設完了。本部に隣接したことにより安全に短時間で人の移動ができ、緊急時も駆けつけやすくなった。

×営業中止や来店数の大幅な減少をはじめ感染症対策に追われ、喫茶メニューの改善や価格の見直しができなかった。

△受注作業の見直しを行ったが作業品目の変更では生産性の向上が図れず休止や定員変更等、事業の再編を行った。

令和2年度 事業計画に対する事業実施報告

社会福祉法人シンフォニー

③実効的な危機管理対策の構築と共有化

- 各種災害に応じた防災計画の策定
- 感染症等の予防及び発生時の行動計画
- 業務中の事故防止と発生時の対応計画

○地震・火災はもとより風水害ではハザードマップを基に避難計画を策定。感染症等は厚労省のマニュアル（入居・通所・居宅）を基に全職員が予防対策を行い発生時の行動計画も策定。ヒヤリ・ハットの共有化や熱中症に対する具体的な防止策を実施。

④重度・高齢化等に伴うホームの支援体制強化

- 医療や介護保険との連携・併用支援
- 休日等の社会生活支援及び余暇支援の充実
- 利用者にとっての「家・家庭」としての環境整備
- 職員配置体制（宿直・勤務時間帯）の見直し
- 利用者の身体状況に応じた居住環境の整備

○通院はもとより訪問看護、往診、訪問リハや通所介護等、医療や介護保険との連携・併用支援ができた。
△買い物や外出など希望する休日の過ごし方をともに計画したが感染防止でスーパーでの買い物等も支援者が同伴した。
△「家」としての温かみ・自由・安心を重視し、誕生日などは入居者の作品による飾り付けでホームパーティ等を開催した。不安や困りごとについては生活支援員が適時話を聞く時間を設け入居者全員での話し合いによる解決等も図れた。余暇の充実は、感染症流行時においても対策をしながら「楽しめること」を増やしていきたい。
○宿直等については職員の希望を重視した勤務表を作成することにより職員の負担軽減を図ることができた。
○引き戸やトイレ・洗面台付の居室を増築中※R3.5月完成予定

⑤職員の人材育成と処遇改善による人材確保

- 体験を通じた接遇・対人サービス研修の実施
- 国家資格の取得・研修受講による質の向上
- 働きやすい職場づくり→リフレッシュ休暇の拡大
- 支援に関する情報共有と広報の充実

×接遇力向上を目的に職員自身が接遇される宿泊体験研修を企画したが感染防止により実施できなかった。
○先輩が資格取得の体験発表を行う機会を設け、取得への動機動機づけを図るとともに、効果的学習法を共有できた。
○リフレッシュ休暇を取得しやすくするとともに、働きやすい職場づくりについて処遇改善の一環としてZOOM等による全体研修を実施。
○処遇改善研修を行う過程で情報共有の不足が明らかになり「立ち話」ではなく会議を開催することや共有フォルダを活用した。

⑥役員会等の開催

- 理事会 : 6月 9月 12月 3月
- 評議員会 : 6月 3月
- 福祉サービス運営委員会 : 6月 3月

○計画通りに実施できた（詳細は別紙）。

(1) 理事会開催実績						
開催日	実施内容	出席者				
第1回 令和2年 6月4日 (木)	第1号議案 令和元年度事業報告 第2号議案 令和元年度決算報告 ・貸借対照表 ・資金収支計算書 ・事業活動計算書 ・財産目録 監事監査報告 総資産の登記 社会福祉充実残額 第3号議案 就業規則の変更 社会福祉法人シンフォニー就業規則 契約職員管理規程 第4号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項	<input type="checkbox"/> 理事 加藤 英彦 淵野 文生 安部 信孝 大戸慎一郎 中村 富康 村上 和子 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博	第5号議案 公印規則変更 第6号議案 経理規程変更 第7号議案 福祉サービス運営委員会規程変更 第8号議案 評議員会の候補者選定 第9号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 大分市実地指導結果 他 ②理事長専決事項			
第3回 令和2年 12月16日 (水)	第1号議案 評議員の候補者選定 評議員候補者の選定 評議員選任・解任委員会の招集 第2号議案 就労継続支援A型 事業体系変更について [報告] ①業務報告 大分市実地指導結果 他 ②理事長専決事項	<input type="checkbox"/> 理事 加藤 英彦 安部 信孝 大戸慎一郎 中村 富康 村上 和子 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博				
第2回 令和2年 10月19日 (月)	第1号議案 収支補正予算(案) 第2号議案 事業計画変更 第3号議案 運営規程の変更 就労継続支援A型 コンチェルト 就労継続支援B型 コンチェルトなかお 就労継続支援B型 コンチェルトもりまち 就労移行支援 コンチェルト 就労定着支援 コンチェルト 生活介護 ファンタジアもりまち 児童発達支援 まーち♪ 居宅介護、重度訪問介護 NLP-ステーションシンフォニー 行動援護 NLP-ステーションシンフォニー 第4号議案 就労継続支援A型コンチェルト 従業員就業規則変更 ※別表の更新について	<input type="checkbox"/> 理事 加藤 英彦 淵野 文生 安部 信孝 大戸慎一郎 中村 富康 村上 和子 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博	第4回 令和3年 2月25日 (木) 第1号議案 令和3年度事業計画(案) 第2号議案 令和3年度収支予算(案) 第3号議案 運営規程変更 就労継続支援A型コンチェルト 就労継続支援B型コンチェルトなかお 共同生活援助ファミール 第4号議案 経理規程変更 ※大分市指導監査に基づく修正・変更 第5号議案 役員の損害賠償保険について ・社会福祉法の改正 ・役員に関する保険契約内容 第6号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項 ③役員改選について			

(2) 評議員会開催実績			(3) 評議員選任・解任委員会開催実績		
開催日	実施内容	出席者	開催日	実施内容	出席者
定時評議員会 令和2年 6月23日 (火)	第1号議案 令和元年度決算報告 貸借対照表 資金収支計算書 事業活動計算書 財産目録 ・監事監査報告 ・総資産の登記 ・社会福祉充実残額 [報告] (1) 令和元年度事業報告 (2) 保険加入について	<input type="checkbox"/> 評議員 軸丸 勇士 多嶋田トミ子 寒田久美子 塩崎 政士 柏 敏宏 仲野 龍男 中野 正幸 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博	第3回 令和3年 3月8日 (月)	第1号議案 令和3年度事業計画 (案) 第2号議案 令和3年度収支予算 (案) [報告] (1) 大分市実地指導結果 (2) 役員改選について	<input type="checkbox"/> 評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 塩崎 政士 仲野 龍男 中野 正幸 惣川 一昭 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博
第2回 令和2年 11月25日 (水)	第1号議案 令和2年度 収支補正予算(案) [報告] (1) 大分市実指導結果	<input type="checkbox"/> 評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 塩崎 政士 柏 敏宏 仲野 龍男 中野 正幸 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博	令和2年 12月21日 (月)	第1号議案 評議員退任届受理について 第2号議案 新評議員の選任について	<input type="checkbox"/> 委員 林 浩治 山崎登代子 立山いづみ

(4) 監査			令和2年 3月8日 (月) 13:20~ 13:50	第2回福祉サービス運営委員会 1、令和2年度相談件数及び相談内容について 相談件数…1件 2、令和2年度職員資質向上に向けた取り組みについて (職員アンケート、処遇改善研修、時短勤務等、実施内容を時系列に沿って説明) <input type="checkbox"/> 苦情受付について 苦情…1件	水之江正博 寒田久美子 矢野 孝美 村上 和子 矢野 太亮 山下 彩子 森淵 晶子
実施日	実施内容	出席者			
令和2年 5月25日 (月)	①決算書 ・財産目録 ・資金収支計算書 ・固定資産管理台帳 ・貸借対照表 ・事業活動計算書 ・決算付属明細書 ②事業報告書 他	<input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博			
(5) 福祉サービスの向上に向けた取り組み					
実施日	取組内容	出席者		<input type="checkbox"/> 処遇改善研修について (※ZOOM研修)	
令和2年 4月 8月 12月	<i>Symphony Times</i> の発行により、シンフォニーが提供する福祉サービスの内容や実施した行事等の様子などを利用者やその家族に年間通して広報した。 これは、どこで・どのようなサービスが提供されているのかを利用者や家族、法人役員が全事業を通して知ること、シンフォニーのサービス全体をモニタリングし、サービスの質の向上を図ることを目的としている。		令和2年 8月29日 (土)	①処遇改善研修 ・労働時間短縮による各所属での取り組みについての発表	
令和2年 6月23日 (火) 13:30~ 14:00	<input type="checkbox"/> 福祉サービス運営委員会の開催について 第1回福祉サービス運営委員会 1、令和元年度相談件数及び相談内容について 相談件数…2件 2、令和2年度職員研修実施予定について	水之江正博 柏 敏宏 寒田久美子 矢野 孝美 村上 和子 矢野 太亮 山下 彩子	令和2年 12月19日 (土)	②処遇改善研修 ・「働きやすい職場づくり」で大切にしたいことについての提案 (各リーダーより所属のメンバーへ、日頃口にできない感謝や思い、抱負等について発表)	
			令和3年 2月27日 (土)	③処遇改善研修 ・1年間の処遇改善研修の振り返り	

コンチエルト

就労移行支援事業

企業が求める力（知識や能力、コミュニケーション）を年間プログラムに沿って行い、利用者とのマッチングを見極め100%の就職率を目指します。

年間プログラム（能力、コミュニケーション等）に沿って行い、就労能力の向上に繋がった。（4月当初5名に対して）就職率100%を目指し、3名が6月と11月と1月に就職。2名が本人の希望により、5月に退所。2月よりB型事業所に通所。60%の就職率にとどまった。

- ①目標就職率100%の達成
- 就労アセスメント
 - 求職と求人のマッチング

×就職率60%（1名退所。1名B型事業所への通所）

- 訓練（読み書き、計算、道具等）を通してアセスメントを行った
- アセスメントや通勤場所等を考慮しマッチングを行った。必要に応じて実習を行った

- ②実習先等の確保
- 実習先の新規開拓
 - 就職先の確保

- 量販店と再契約、実習先の確保ができた
- 量販店での経験が自信となり、全国チェーン店での実習に取り組む

- ③社会人としてのマナーの習得
- あいさつや服装
 - 危険予知訓練

- 可視化（動画やイラスト等）することで理解を深めることができた。
- 津波の浸水を想定しハザードマップを活用した

- ④企業が求める人材育成
- 自発的な取り組み等指示を仰ぐ姿勢や行動ができるよう支援する

- ご本人の意見を伝える訓練（発表等）を行うことで、企業が必要とする報告や連絡をすることができた

令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	3
6月	ゆうあいスポーツ大会 (中止)	
6/25	歯科検診	3
8月	大分市交流会 (中止)	
9/4	内科健診	3
10月	あおぞらフェスタ (中止)	
11/11	インフルエンザ予防接種	1
12月	もちつき大会 (中止)	
1月	成人祝賀会 (中止)	

利用等実績				時期	実習・見学（人数・業種名）	受験者	就職
定員6名	男	女	計	6月			建設業【1名】
契約者	4	1	4	7月	見学-量販店【1名】		
実利用	4	1	4	9月	実習-量販店【1名】		
				10月	実習-量販店【2名】 見学-量販店【1名】	県庁【1名】	
増減				11月	見学-県関係施設【1名】		量販店【1名】
				12月	実習-A型事業所【1名】		
				1月	実習-B型事業所【1名】		量販店【1名】
工賃額				2月			B型事業所【1名】

※コロナウイルス感染の予防により、行事のほとんどが中止

コンチェルト

就労定着支援事業

企業と利用者との連絡を密にし、悩みや相談があれば解決に向け調整を行い、継続して就労できるよう支援します。

企業へ訪問し利用者の仕事への意欲や人間関係、仕事内容等を聞き、企業の人事担当者と問題解決にあたった。問題解決だけでなく、企業からの相談（例：分かりやすい表現等）にも応じ、効率やビジネスマナー等を利用者に伝え、双方が円滑な関係が保てるよう図った。

- ①定着率100%の達成
- 訪問（1回/月）し面談
 - 本人と就職先との架橋
 - 必要に応じて保護者との面談
 - ジョブコーチや医療等と連携し求められる人材（技術や意欲、意思表示）育成

×定着率80%。定期訪問（1回/月）を行った（状況に応じて複数回訪問することがあった）が1名、自己都合により退職。1名、福祉サービス期間（最大3年）が終了した

- 保護者からの相談があり関係機関との再就職等の情報交換を行った
- 状況に応じて通院同行を行い、医師の助言受け就労意欲の向上を図った

- ②主体的な活動の支援
- 同窓会の開催

△コロナ禍による会の中止。今後は、ネット環境等によるが、オンラインでの開催を検討。また、就職者本人が主体的となる運営方法や内容の再考。この会は互いの近況報告等を行うことで、更なる就労意欲向上に繋がるため必要と思われる

令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
5月	同窓会（中止）	
9月	同窓会（中止）	
10月	本人活動セミナー（中止）	
12月	もちつき大会（中止）	
1月	成人祝賀会（中止）	
2月	同窓会（中止）	

利用等実績	主な就職先（訪問先）			仕事内容	
	男	女	計		
契約者				高齢者施設（2施設）	居室・館内清掃、施設内喫茶等
				医療機関（1機関）	館内清掃、倉庫整理、医療用具の洗浄等
				障害者施設（1施設）	館内清掃、入浴介助補助、食事介助補助等
				図書館（1館）	返却本の管理、整理等
増減	新規2名			公的機関（県庁等）	文書整理・配達、シュレッダー作業、封入作業等
	退所2名			大型量販店（1件）	商品検品、値付け、陳列等

※コロナウイルス感染の予防により、すべて中止

コンチェルト

就労継続支援A型事業

利用者を交えた会議を1回/月開催。より主体的となった働き方を支援し黒字へ転換。一般就労に向けた支援をする。

コロナ禍による対策等で会議が単発に終わった。農地（ビニールハウス含む）等の移転、コロナによる臨時休業があり、黒字への転換ができなかった。一般就労については、1名の利用者が就職。多様な訓練等の提供を目的に、喫茶部門を一部B型に変更となった。

- ①就労収益の向上
- メンテナンスから農業への転換。農福連携をさらに進める
 - 利用者職員合同会議を行い、見える化を行う喫茶
 - 多様な訓練に取り組む

○△メンテナンス1件契約終了、いちご農園と契約。農福連携を図った。今後も継続して行う
 ○△不定期の開催となった。売上/日等をホワイトボード等に掲示し利用者職員との共通理解ができた
 ○体験、見学を行い、7名の利用者が農業、メンテナンス等複数の訓練に取り組んだ

- ②求職活動
- 実習先や就職先の開拓する

○関係機関（GH等）と連携し11月よりホテル（主にリバー）の実習を行った。本人の意向と実習先のニーズが合致。12月より就職となった

- ③健康管理
- 加齢による既往症やそれに伴う生活習慣の見直し。健康調査票の記入

○△健康チェック票の記入により健康状態（検温等）を確認。生活習慣（間食等）について支援。健康診断を充実させ関係機関と連携を図った

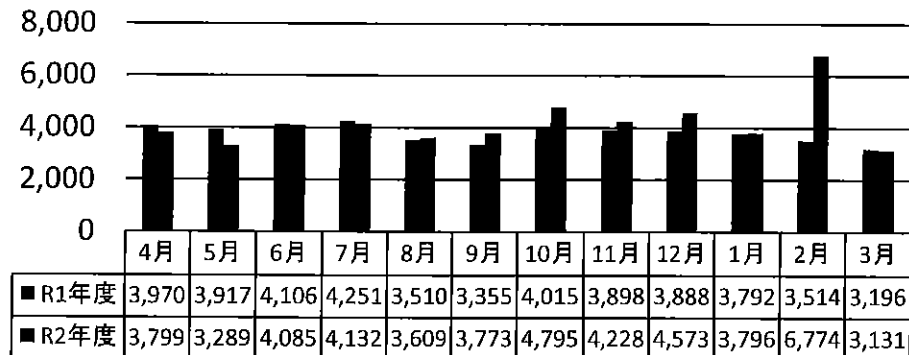
令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	5
6月	ゆうあいスポーツ大会（中止）	
6/25	歯科検診	10
8月	大分市交流会（中止）	
9/4	内科健診	27
10月	あおぞらフェスタ（中止）	
11/11	インフルエンザ予防接種	9
12月	もちつき大会（中止）	
1月	成人祝賀会（中止）	

利用等実績（3月定員変更）

定員	男	女	計
30名 (17名)			
契約者	19 (10)	9 (7)	28 (17)
実利用	19 (10)	9 (7)	28 (17)
増減	新規0名 退所11名 (就職1名、B型へ10名)		
工賃実績	平均月額82,002円		

円 収入実績(単位:千円)



※コロナウイルス感染の予防により、行事のほとんどが中止

コンチェルトなかお

就労継続支援B型事業

新たに清掃作業に取り組み清掃技術の習得を図るとともに就労意欲を引き出し工賃アップを目指します。

生産活動の内容見直しをおこなった、農業の（菌床しいたけ）栽培・収穫・販売と新たに取り組むことで技術の習得等の就労の機会を提供することができた。

- ①新たな取り組み（農業）
■菌床しいたけの栽培

○菌床しいたけの栽培（ホースでの水やりや注入器を使用）・収穫（肉厚で適度な大きさになったときにとる）・販売（まずは保護者に案内、1度/週の定期購入する方もあった）に取り組み成果は見られた。次年度の目標に繋がった。目標は480床⇒1000床に増やし、販路を広げ売上アップを目指す。

- ②接客・販売技術の向上
■メニューの見直し、出前や弁当受注（コンパル店）
■就労意欲の引出し（なかお店）
■B型に変更（府内店・県庁店）

×コロナや改修工事で長期閉店のため、新たなメニューの見直しや弁当受注の取り組みが十分にできなかった。
○今年度からB型でなかお店をすることにより、室内軽作業のみ行っていた利用者に多様な働く場を提供することができ意欲の向上が図れた。
○10名の利用者は今まで通りの業務の中で更なる接客技術を発揮できた。

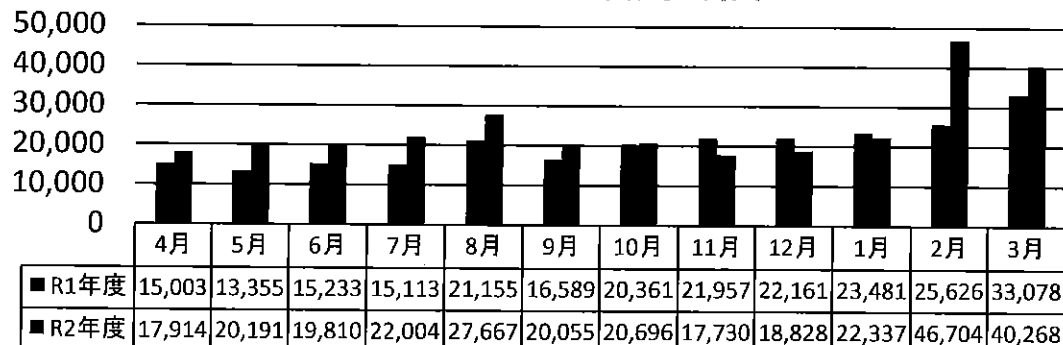
- ③目標工賃
■平均月額25,000円を目標
■繁忙期（単価高）積極的な受注

△コロナ感染拡大及びコンパル店改修工事による長期休業等あり、収入は減少したが、利用者工賃への影響を抑えるため、工賃変動積立金を取り崩すことで目標工賃を達成することになった。
×夏・冬期の繁忙期の作業はコロナ禍の中、受注が半減し収入アップに繋がらなかった。

利用等実績（3月定員変更）

定員	24名	男	女	計
	(37名)			
契約者	14	14	13	27
	(22)	(22)	(15)	(37)
実利用	14	14	13	27
	(22)	(22)	(15)	(37)
増減	新規0名 退所1名			
工賃額	平均月額25,014円 (目標月額25,000円)			

円 工賃(平均月額)実績



令和2年度 事業実績

4/1	出発式	23
6/25	歯科検診	22
8/17-9/16	内科検診	25
10/21-11/1	ときめき作品展	6
11/11	インフルエンザ接種	19

コンチェルトもりまち

就労継続支援B型事業

目標を持って作業に取り組み、安定した工賃を支給するとともに、一般企業の情報を提供し就労意欲を高めます。

目標を持って作業をすることで、平均月額25,000円を支給した。また、一般就労の情報を提供したが、企業実習・就職には繋げることが出来なかった。

- ①安定した工賃の支給
- 新たな施設外就労先の開拓
- 平均月額25,000円の支給

○施設外就労先（スーパーでのカート整理等）の業務委託を受けることが出来た。（実施回数6/月回程度、売上月55,000円）
△利用者工賃平均額が前年度を大きく下回らないよう工賃変動積立金を一部取り崩すことで平均月額25,154円支給した。

- ②一般就労への支援
- 関係機関との連携・情報の提供と企業実習

△情報提供を行なっていく中で、就職希望者を募った。しかし、コロナ禍のため関係機関との連携がうまく回れず、実習・就職には至らなかった。

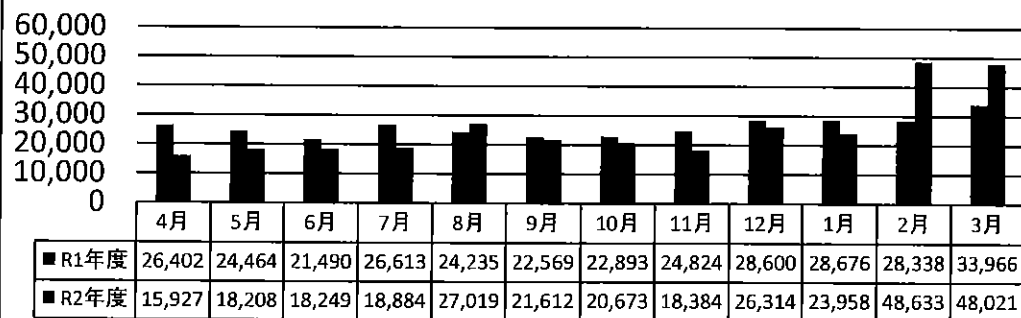
- ③もりまち本人部会をつくる
- 開所日に利用者本人を中心とした話し合いの場を設ける

○開所日に話し合いの場を設け、作業室内のルール決めや、買い物活動を実施することが出来た。また、回を重ねるごとに、利用者からの発言が増えていくなど、利用者が主体的に取り組んでいくことが出来た。

利用等実績

定員 20名	男	女	計
契約者	6	9	15
実利用	6	8	14
増減	新規3名 退所0名		
工賃額	平均月額25,154円 (目標月額25,000円)		

円 工賃(平均月額)実績



令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	12
4/20	歯科検診	9
9/14 -9/18	内科検診	10
10/21 -11/1	ときめき作品展	1
11/11	インフルエンザ 予防接種	7

ファンタジアもりまち 生活介護事業

個々のニーズに沿った活動を提供するとともに、地域の中で安心して過ごせるよう「経験」する機会を増やします。

少人数グループでの活動を行なうことで、利用者一人ひとりへの支援時間を増やすことに努めた。また、コロナ禍での感染予防（マスク・検温・手洗い）等に取り組んできたが、マスクが苦手な方もいるため、今後徹底していくことが課題である。

①社会生活支援

- 公共交通機関を利用した買い物活動。
- 店内でのマナーや支払い方を学ぶ。

△コロナ禍のためバス等、公共交通機関の使用を控え、徒歩にて近隣の買い物活動を行なった。
○ソーシャルディスタンスの立ち位置やマスク着用、アルコール消毒等、マナーを確認し少人数で実施することにより、状況に合わせた買い物活動が出来た。

②グループ活動の実施

- 小グループ(5人程度)にて活動の実施。

○少人数で実施することにより活動が円滑に進み、職員に担当をつけることで利用者一人ひとりに対する支援の時間を増やすことが出来た。

③生産的活動

- 作業班を設けて作業に取り組む

○作業に興味がある利用者が定期的に作業に取り組めた。今後は取り組める作業の種類を増やしていく必要がある。

④入浴支援

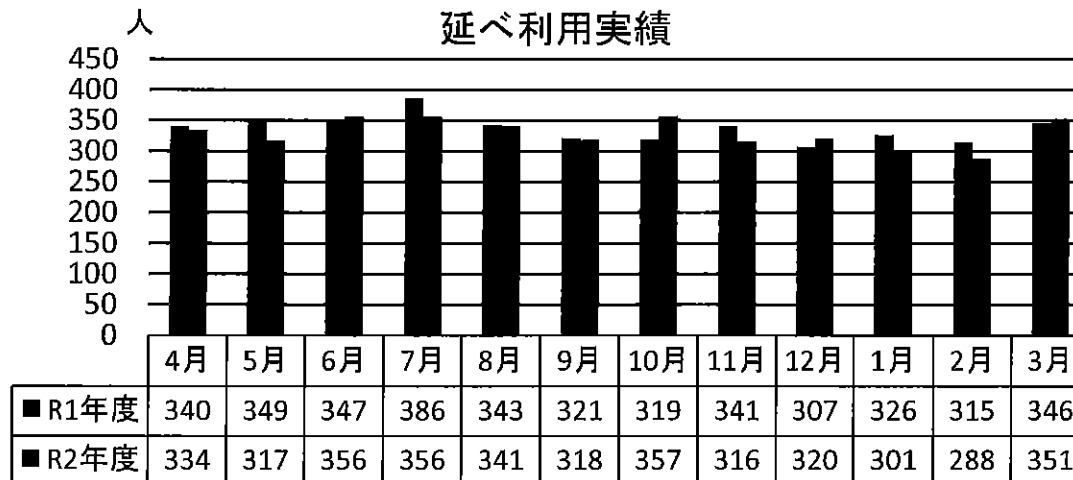
- 入浴希望日に実施

○行事日を除き、毎日入浴を実施することが出来た。

利用等実績

定員20名	男	女	計
契約者	15	4	19
実利用	14	3	17
増減	新規0名 退所2名		
工賃額	平均月額 330円		

延べ利用実績



令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	15
6/16 -6/18	歯科検診	16
9/14 -9/18	内科検診	17
10/21 -11/1	ときめき作品展	4
11/11	インフルエンザ 予防接種	12

ファンタジア

地域活動支援センター

個々に応じた社会生活支援および日常生活支援を行い、様々な経験を通して知識・能力の向上を目指します

活動の年間スケジュールを作成し、一つひとつの活動に目的を設けて実施することで利用者さんに必要なスキルの構築に努めた。また、コロナ禍において感染予防対策を講じながら活動に取り組むことができた。

①チャレンジできる環境づくり
■施設内外で様々な経験ができる環境づくり

○コロナ禍において感染防止のためのマニュアルを作成し実行することで、感染予防の意識を高めることができた。
×施設外での活動を自粛したことで、地域の中での経験を得る機会が少なかった。

②活動の円滑化
■活動の目的を周知
■職員の役割の明確化

○年間を通じて活動に目的をもったスケジュールを計画し、利用者、職員に日々朝礼などで周知することを徹底した。
○活動の担当職員や活動の中での職員の役割一覧を作成し、活動や個々の利用者に応じた支援を明確化することで職員の意識向上に努めた。

③変化に応じた支援
■個々の先を見据えた支援
■個人情報の整備と更新、共有

○ケア会議を1回→3回に増やし、利用者一人一人の現状と今後展望について支援方法などを話し合う環境づくりに努めた。
△個人情報を正確に把握するための保護者への聞き取りや情報の更新を可能な限りデータとしてまとめたが、共有までは至らなかった。

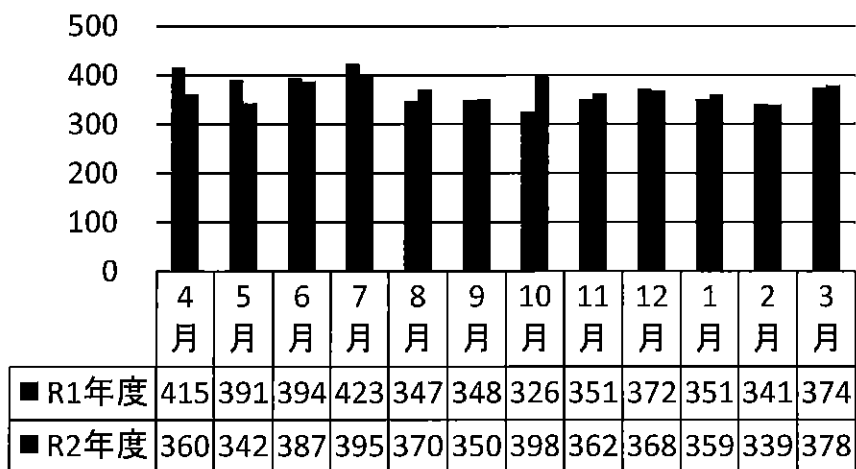
利用等実績

定員6名	男	女	計
契約者	10	12	22
実利用	10	12	22
工賃額	平均月額 515円		
増減	退所1名(女性1名)		

	R1年度	R2年度
一日平均利用人数	16.9	17.0
合計利用延人数	4,433	4,408

人

延べ利用実績



令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	15
6/25	歯科検診	18
8/17 -9/16	内科健診	19
10/21 -11/1	ときめき作品展	2
11/11	インフルエンザ 予防接種	12

まーち♪

児童発達支援事業

集団での保育（療育）を通して、児童の発達を促すとともに家族の介護負担の軽減を図ります。

低年齢児の利用が増えたことに加え、幼稚園や保育園への通園を希望する児童が多く、集団のなかの「個」を大切にしたい支援を重点的に行った。母子分離の経験を積みながら友達や支援者と過ごすなかで、様々な力を身につけるきっかけにつなげることができた。

①就園・就学に向けた準備

■日常生活動作の獲得と、社会性を身につけるための支援

○一人ひとりの児童が母子分離の経験を積みながら日常生活動作の獲得に向けた練習に取り組むとともに、様々な場面において友達との関わり方やおもちゃの貸し借りなどのルール等を身につけ、小学校や幼稚園、保育所への移行につなげることができた。

②利用児の低年齢化に応じた支援

■母子分離の経験を積みながら安全に過ごす

○お母さんと離れ、友達や支援者と一緒に過ごす経験を積み、友達を意識したり他者と関わるきっかけにつなげることができた。
△年長児と合同の活動であるため、双方が楽しく参加できる活動内容を再度見直すことが必要。

③「まーち♪だより」の充実化

■内容の見直しを行う

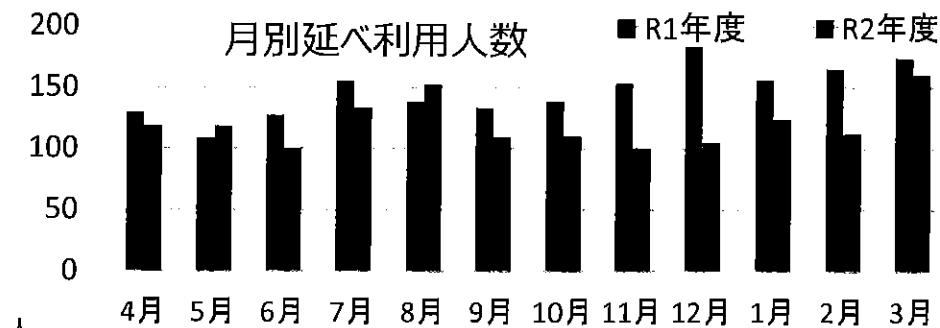
○感染症対策、非常災害対策、安全管理、子ども達の役割分担とその成果など、まーち♪での普段の取り組みについて掲載し、伝えることができた。

令和2年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/4	お花見	3
5/22	5月お誕生日会	9
6/24	6月お誕生日会	4
7/18	7月お誕生日会	5
8/27	8月お誕生日会	7
9/17	9月お誕生日会	4
10/21	10月お誕生日会	5
11/20	11月お誕生日会	5
12/25	12月お誕生日会	8
1/25	1月お誕生日会	9
2/2	豆まき	4
3/30	卒園式	8

利用等実績

定員10名/日	男	女	計
契約者	12	7	19
実利用	12	7	19
利用増減	新規 退所	6名 2名	
移行実績	保育園 幼稚園 小学校	5名 9名 2名	



	R1年度	R2年度
1日平均利用人数	6.7	5.4
年間利用延べ人数	1759	1281

療育センターカノン♪

障害児（者）地域療育等支援事業

通所等によるサービス利用が困難な方へ訪問により療育等を提供することで、障害児（者）の福祉の向上を図ります

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、4・5月は訪問療育指導の休止を余儀なくされたが、再開後の6月以降からは利用者が増えたこと、定期的な利用が定着してきたことにより延べ人数の増加につながった。講師の定期的な訪問による療育指導によりいきいきと活動に取り組む利用児（者）の姿が見られている。

①訪問療育事業の周知

■必要な方に療育の機会を提供できるよう、他機関との連携を図りながら情報提供を行う

○相談支援専門員との連携により、通所が困難な方への情報提供を行い、本事業の利用につなげることができた。毎回いきいきと療育に参加する姿が見られている。また保健師との情報共有、情報交換を行ったことにより、今後の利用につなげていきたい。

②講師等の確保

新たな講師の登録を行い、個々に応じた療育がより多く提供できるようにする

○現在、絵画、音楽の講師が訪問し、療育指導を行っている。個々のペースに合わせて活動を行い、いきいきと活動に取り組むことにより生活リズムを整え、より早い時間に通所することができるようになった、等の成果が見られた。

③定期訪問

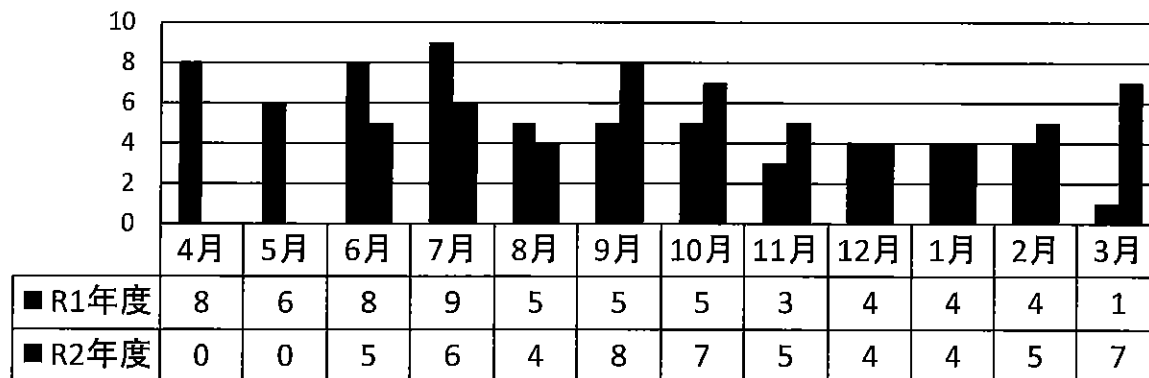
定期的にご自宅への訪問を行い、ご本人の様子を確認しながら療育を提供していく

○初回利用時は必ず講師に同行し、一緒に活動に参加した。またサービス担当者会議に出席し、ご本人の様子やご家族の思い、要望等を伺い、今後の療育活動の回数や内容等について検討することができた。
△上記以外の定期的な訪問には至っておらず、改めて訪問の時期や頻度についての見直しが必要。

利用等実績

	男	女	計
実利用人数	1	2	3
平均利用人数	延べ4.6人/月 (昨年度5.2人/月)		
利用増減	1名増		

延べ利用人数推移



ファミリー

共同生活援助事業

利用者が主体性をもって、地域において共同して日常生活または社会生活がおくれるよう支援します。身体状況に応じて、必要な日常生活上の支援を行います。

コロナ禍のため、外出をする機会は少なくなったが、入居者に感染症対策について伝え、マスク着用や手洗い等が身に付いた。また、利用者の状況に合わせたサービスの提供をすることができた。

①個人の生活の充実

- 個人の生活スタイルに沿った支援を行います。
- 公共交通機関等を利用して外出、余暇の充実を図ります。
- 季節ごとに行事を行うことで四季を感じ、協力して取り組む力を養います。

○季節ごとに行事を行い、四季を感じながらおいしい物を食べた。また、リビングを季節に応じて、入居者と協力しながら飾り付けた。
△コロナの状況により一人での外出を自粛してもらう時期があった。休日は月に1回程度、移動支援を利用し衛生面に配慮しながら外出を行った。

②高齢化・重度化に対する知識の習得

- 関係機関（医療等）と連携し、必要な知識・技術を深めていきます。

○高齢化がすすむ利用者の主治医やケアマネと連携し、必要な検診を行った。また、医療面でのサポートが必要なため、定期的に訪問看護が利用できるようにした。

- ### ③状態に合わせた生活支援、サービス提供
- 状態に合わせてサービスを見直し、関係機関と連携しながら必要なサービスを提供します。

○医師の指示により、体を動かす機会を増やした方が良い方や、引っ越し等で日中事業所を変更する必要がある方に対して、相談支援専門員と連携し必要な福祉サービスの提供をした。

④既往症等の知識の習得と現状把握

- 内科健診、歯科検診の結果を参考に定期受診を行います。

○歯科検診後に地域の歯科医院を受診したが対応困難であったため、紹介状を書いてもらい大分県口腔保健センターを受診。定期通院につなげた。また、内科検診の結果で受診を行い、定期的な通院が必要な場合は通院等介助を利用することもある。

利用等実績

	中尾	中尾Ⅱ	森町
定員	7	7	7
入居者	6	5	7
平均年齢	50	48	51

- ・ファミリー中尾Ⅰ 4月1名入居。
- ・ファミリー森町 6月末1名退去。
※他法人の入所施設へ
- ・ファミリー森町 11月1名退去。
※高齢のため老健施設へ
- ・ファミリー中尾Ⅱ 12月1名退去。
※別府市のグループホームへ
- ・ファミリー中尾Ⅱ→ファミリー森町
1月1名転居。
- ・ファミリー森町 3月1名入居。

月	延べ利用日数 (前年度増減)	月	延べ利用日数 (前年度増減)
4月	581 (+12)	10月	571 (+18)
5月	588 (+5)	11月	523 (+35)
6月	549 (-20)	12月	500 (-17)
7月	554 (-11)	1月	498 (-22)
8月	561 (+1)	2月	461 (-54)
9月	544 (+2)	3月	535 (-30)
		合計	6,465 (-81)

短期入所事業ファミール

短期入所事業

利用者の身体やその状況に応じて入浴、排せつ、食事の介護を支援します

コロナ禍のため、短期入所の利用者が大幅減となったが、緊急時等、利用が必要な方に対して安全に受入れを行うことができた。また、定期的に利用していた方が安心して過ごすことができていたため、その後の入居につながった。

①本人の状態に合わせた生活支援
 ■短期入所時に不安なこと等、気になることは相談を受け、一緒に考えることで安心して過ごせる環境づくりに努めます。

○新規で短期入所を利用する方には、事前の建物見学や書面でのスケジュール・持ち物確認を行うことで安心して宿泊できるよう準備をした。
 ○短期入所利用時に、困った子ことや不安なことを聞いたり、他の入居者と交流する機会を多く設けたことで、安心して過ごすことができ、その後入居に繋がった方が1名いた。
 ○大型台風の前日から、不安を抱えていた一人暮らしの利用者全員に声をかけ、希望された方は台風が去るまでグループホームで安全に過ごしていただいた。
 △コロナウイルスの流行により、4月・5月は緊急性の高くない短期入所の利用は受けなかった。また、定期的に利用していた利用者も緊急な時以外は短期入所を利用しなかったため、前年に比べ利用数が大幅に減少した。

利用定員等			
	中尾	中尾Ⅱ	森町
定員	3	1	2
利用延日数	37	6	88
月平均	3.1	0.1	10.9

月	延べ利用日数 (前年度増減)	月	延べ利用日数 (前年度増減)
4月	0 (-49)	10月	13 (-31)
5月	0 (-27)	11月	21 (-15)
6月	12 (-29)	12月	10 (-30)
7月	16 (-23)	1月	13 (-15)
8月	14 (-7)	2月	8 (-19)
9月	18 (-20)	3月	6 (-12)
合計		131 (-277)	

ヘルパーステーション

居宅介護・行動援護・移動支援事業

- ・家庭において、安心・安全に支援します
- ・一人一人の目的に沿った支援をします

- ・利用者の身体状況に応じた支援（医療通所との連携を図る）支援者全員で共通理解すること支援に関する情報の共有ができ、質の向上に繋がっている
- ・事前に目的を伺い、本人の意向に沿った支援ができた

- ①事例検討の研修
■定期的に研修を行う

○事例検討の研修を定期的に行うことで支援に関する情報の共有ができた

- ②報告・連絡・相談
■支援中、疑問に思うことがあればすぐにリーダー等に連絡・報告、他所属との連携

○適切な報告・連絡・相談ができた共通理解し支援にあたる事で、医療・日中支援との連携が取れた

- ③目的に沿った支援
■支援の改善策を考え、相談します

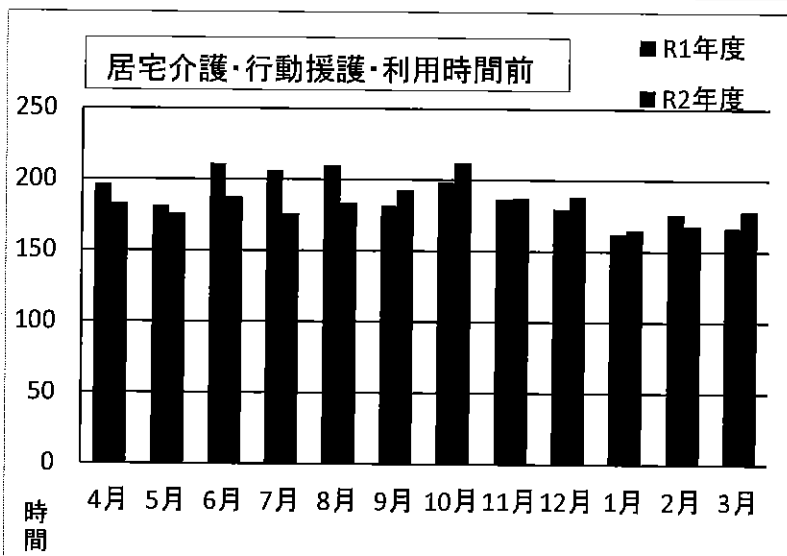
○日中活動（生活介護）に午前中参加できるようになった
○食生活の見直し、食事ノートの記録、血圧ノートの記録等受診時に持参する事で、健康管理に繋がっている

居宅介護・行動援護 ()内前年度増減

	大分市	市外	計	職員配置	
契約者数	42(-3)	1(-1)	43(-3)	管理者	1
実利用数	23(-5)	1(+1)	24(-4)	サビ提	1
新契約数	0(0)	1(+1)	1(+1)	介護福祉士	12(+3)
契約終了	0(-6)	1(0)	1(-6)	ヘルパー2級	2(-2)

移動支援 ()内前年度増減

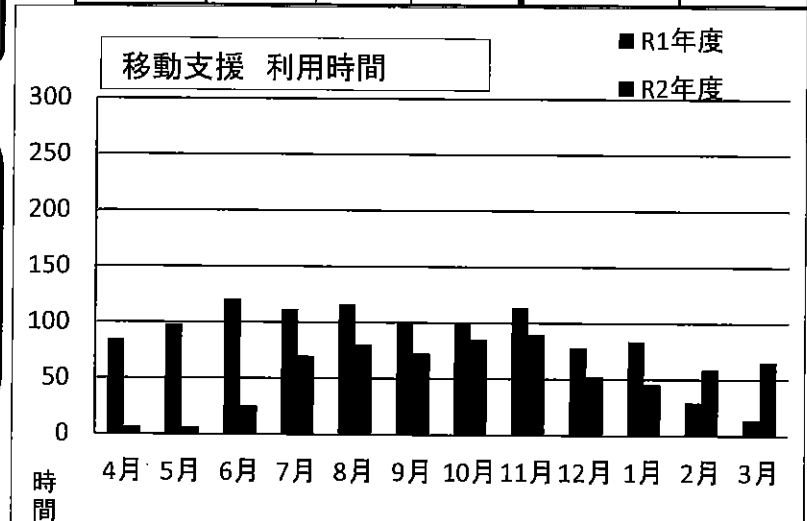
	大分市	市外	計	職員配置	
契約者数	51(-4)	1(-1)	52(-4)	管理者	1
実利用数	29(0)	1(+1)	30(+1)	サビ提	1
新契約数	0(0)	1(+1)	1(+1)	介護福祉士	12(+3)
契約終了	3(-3)	1(+1)	4(-2)	ヘルパー	2(-2)



コロナ禍における支援のあり方

- 支援前の体温チェック
- 手指消毒の徹底
- マスク着用して3密を避ける
- 一人暮らしの方、家庭内環境の整備
- 室内温度、換気

重度訪問介護該当者なし



コース

障害者相談支援事業・相談支援事業（特定・障害児・地域）

関係機関と協力して、障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう相談支援を行います

障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるように、緊急時の支援体制を整え、関係機関との更なる連携を図った。

①安心コール
関係機関と連携して情報提供等を行いながら、安心して利用できるよう取り組みます

○令和2年度の安心コール相談件数17件（内緊急対応0件）
△関係機関との更なる連携が必要

②相談支援技術の向上
事例検討会等を通して、相談支援事業所間の連携強化と研修する機会を作ります

○年3回の事例検討会を通して、相談支援事業所と連携を図ることができた。また、研修を行い様々な事例を検討することができた。

③障害のある方やご家族のお困りごとを解決できるよう、サービス利用などのプランづくりや相談支援を行います（計画相談）

○こまめなモニタリングにより、早期に状況の変化やニーズを把握し、必要な支援体制を整えることができた。
○事例検討会への参加により、支援技術の向上を図った。

④地域での生活を始め、安心して続けられるよう支援します（地域定着支援）

○困りごとがある時に電話や訪問で相談を受け、関係機関と連携して、安心して一人暮らしを続けていけるよう支援した。

令和2年度 事業実績

月日	実施内容	回
7/16 他	障害者相談支援従事者初任者研修会	7
7/21 他	自立支援協議会	2
7/28 他	事例検討会	3
9/2 他	相談支援専門員連絡会	2
9/15 他	こども部会 医療的ケア児支援 検討部会	2
10/30	親なきあと相談員養成研修	1
1/18	障がい者虐待防止・権利擁護研修	1

利用等実績（委託）

	成人	児童	計
実人員	447	171	618
増減	-61	+47	-14
対応件数	2,404 (-72)		

利用等実績（計画）

	契約者数	作成件数 計画	作成件数 モニタリング
特定	198 (±0)	218 (+6)	480 (+70)
障害児	38 (-7)	41 (-8)	84 (+19)
地域	1		